

市民建産常任委員会報告書

令和3年8月23日

委員長 古賀 誠視

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、令和3年7月28日、7月30日に関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

市民部

環境課

環境整備係から、地球温暖化対策事業、環境負荷低減意識啓発事業、生物多様性古賀戦略の推進、飼い主のいない猫に関する取組についてのクラウドファンディングの報告がありました。

資源循環推進係から、令和2年度のごみ処理量と資源化率、雑がみ回収袋、環境展の報告がありました。

海津木苑から、海津木苑処理状況、海津木苑施設等啓発、令和3年度汚泥再生処理センター整備事業の報告がありました。

委員から、ゼロカーボンシティ宣言について、ぜひ取り組むべきだということを要望していたが、市長から緩和と適用をキーワードに各種施策を進めていくとともに、長期目標を定める必要があるとの答弁があった。今後の取組やゼロカーボンシティ宣言についての考え方は、との問いに、県の補助事業を使い、可能性調査の取組も進めている。今後の長期目標をどうするかも含め、地球温暖化対策等委員会に提案する準備を進めたい。宣言についても、できるだけ早い時期に宣言できるよう作業を進めているとのこと。

プラスチック類のリサイクルの処理方法、再生についての努力や最終的なりサイクルの出口は、との問いに、容器包装の廃棄物の削減に取り組むことを義務づけた容器包装リサイクル法に基づき分別しており、回収したプラスチック製容器包装は、一旦清掃工場に搬入され、人の手でさらに選別され、汚れがひどいものなどは一部焼却もあるが、大部分がリサイクル業者へ引き渡されると聞いているとのこと。

海津木苑が福岡県エネルギー利用モデル構築促進事業の対象であり、敷地内で調査するとあるが、公共施設として太陽光発電や蓄電池の設置等の自家発電機能を検討する可能性は、との問いに、仕様書にも太陽光発電の設置は記載をしている。施設にも非常用発電機の設置を行い、蓄電池については検討中とのこと。

市民国保課

市民係から、令和3年6月末の総人口、外国人国籍別人口、個人番号カードの交付枚数とコンビニ交付サービスの利用実績、証明書交付部数の報告がありました。

国保係から、令和3年6月末の国民健康保険加入世帯数、被保険者数、国民健康保険税賦課結果、令和2年度の収納率の報告がありました。

年金・医療係から、国民年金加入者数、後期高齢者医療被保険者数、重度障がい者医療受給者数、ひとり親家庭等医療受給者数、子ども医療受給者数、後期高齢者医療保険料賦課結果の報告がありました。

その他として、新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免に関する決定処分を取り消す裁決を求める審査請求があっており、現在、行政不服審査を行う審理員を指名し手続を進めているとの報告がありました。

委員から、個人番号カードの交付状況が、令和3年の6月までで34.1%という結果についての評価及び4月、5月、6月の交付数が非常に伸びている要因は、との問いに、国の交付率が31.8%で、国の平均と同様の状況である。伸びている要因として、マイナポイントの取組があると考えているとのこと。不服申立てがなされた日付と、市で回答されるのはいつごろの予定か、との問いに、令和3年2月12日に最初の提出があり、その後、不備を補正したものが4月9日に提出されている。現在弁明書を提出している状況で、今後の日程等については追って示されるものと考えているとのこと。

人権センター

人権教育・啓発係から、人権教育・啓発事業として同和問題啓発強調月間の取組、まちづくり出前講座、人権相談事業として人権擁護委員活動支援、人権関係団体活動推進事業として古賀市社会「同和」教育推進協議会の報告がありました。

男女共同参画・多様性推進係から、男女共同参画フォーラム、男女共同参画セミナー、女性起業カフェフォローアップセミナーの報告がありました。性的マイノリティ交流会について、性的マイノリティの方々が孤立せず、悩みや情報を共有できるように、9月18日(土)に交流会を開催予定との報告がありました。

委員から、古賀市同和問題を考える市民のつどいの開催について、新型コロナウイルス感染症の影響と、今回はオンライン参加も実施されたため参加者も増加したと思うが、との問いに、会場への参加は、コロナの影響で少なくなるだろうと想定していた。今回のオンライン配信は339名の登録があり、290名ほどが視聴されていたが、会場の人数はかなり少なかった。午後に講師が監督された映画上映では、著作権の関係上、オンライン配信できず、会場には100名いかなかったことは残念とのこと。

収納管理課

収納管理係から、令和2年度、令和3年度の市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の収納状況、令和3年度滞納処分状況の報告がありました。

委員から、令和3年度の滞納処分状況として、検索がゼロということだが、今年度中に市外や県外に対しての検索は行うのか、との問いに、市外については近隣であれば検索をすることもあり得るが、県外は市県民税の分を県に依頼をしている。県外については、預貯金や生命保険などの財産調査及び差押えを実施するとのこと。

市税課

市税課長から、市税の6月末時点の調定状況(現年課税分)の報告がありました。個人市民税については、当初予算では新型コロナウイルス感染症の影響等による調定減を見込んでいたが、前年度並みとなったとの報告がありました。

委員から、市民税等の調定には新型コロナウイルスの影響がさほどないとのことだが、その要因や令和3年度の方向性は、との問いに、市民税に影響が出なかったことについては、正直分からない。今後については状況を注視していきたいとのこと。

建設産業部

都市整備課・古賀駅周辺開発推進室

都市計画係から、今在家地区の市街化区域編入について、令和3年6月8日付で決定告示を行い、工業地域として市街化区域に編入したとの報告がありました。

開発指導係から、古賀市木造戸建住宅耐震改修工事等補助金交付要綱の改定の報告がありました。

公園・緑地係から、令和3年度市内公園低木剪定消毒業務委託、小野公園外3公園法面草刈業務委託の入札結果の報告がありました。

古賀駅周辺開発推進室開発推進係から、JR古賀駅東口周辺整備の進捗状況について、本年度予算から1件発注、JR古賀駅東口周辺地区整備ガイドライン等策定業務委託で、契約相手方は未定。本委託は公募型プロポーザルを実施し、企画提案を受け、審査会を実施し、受託候補者を選定、その受託候補者と契約を予定している。現在、受託候補者の選定まで実施しており、株式会社都市環境研究所九州事務所が受託候補者となっている。予定価格は税込32,615,000円、期間は契約締結日の翌日から令和4年3月31日までとの報告がありました。

その他として、古賀市と西部ガス株式会社は、まちづくりに関する情報や経験、技術を相互に共有し、これらに関する事業を連携して推進するための基本協定を令和3年7月28日に締結した。この協定は、JR古賀駅周辺の都市的なにぎわいと活力ある中心市街地の形成、また古賀グリーンパーク周辺の観光や産業振興の拠点機能の充実に関するまちづくりの推進を図るものとの報告がありました。

委員から、今在家地区の市街化区域編入が実施されたが、今後の進め方は、との問いに、地元において組合施行の土地区画整理事業を予定しており、今後1年間ぐらいかけて土地区画整理事業の認可申請を行い、認可が取れば仮換地が行われて、造成に入っていく。その後のスケジュールは、地元からスケジュール案の提示があると思うとのこと。

古賀市木造戸建住宅耐震改修工事等補助金交付要綱の改定について、予定される件数の見込みと古賀市内で耐震化の必要な木造住宅がどれくらいあるか、との問いに、従来分と合わせて3件分で90万円の予算を計上、市内の木造戸建住宅が1万3,571軒で、このうちの2,583軒が耐震性に劣ると推計しているとのこと。

西部ガスとの連携協力ということだが、URと以前に協定を締結しているが、今後URとはどのような立場でJR古賀駅の開発に関わり合いを持っていくのか、との問いに、様々な知見を有しており、アドバイスを聞きながら一緒に進めていきたいとのこと。

建設課

土木係から、主要な事業の進捗の報告がありました。西鉄宮地岳線跡地については、中川区との設計協議を8月4日に実施予定。花見南区については素案の作成中との報告がありました。

管理係から、令和3年度県事業で工事費が100万円以上の9か所についての報告がありました。

地籍調査係から、地籍調査事業の進捗の報告がありました。

その他として、前年度に実施した花見小学校前のハンプの設置について、7月20日にハンプの設置について地元協議で了承され、8月の夏休み中に設置するとの報告がありました。

委員から、中川区との西鉄宮地岳線跡地の設計協議での提案としては、遊歩道や歩道を優先した道路になるのか、また既存の道路の変更についての大きなポイントは、との問いに、2車線あ

る区間はそのまま2車線で両側に歩道をつけ、残地についてはまだ白紙の状態。狭い車線の区間の部分は両側に歩道、片方は広めの遊歩道とし、中央に4メートル程度の車道をつけ、自転車専用通行帯を設置予定で、地元の意見を頂いて修正作業を進めていくとのこと。

花見小学校前のハンプの設置について、今年度の予算で設置と思うが設置費用は、との問いに、前年度の可搬型ハンプの設置は、可搬型ハンプを国から借りてその設置工事は市で施工。約200万円ぐらいかかっている。今回の設置工事は、現在見積り中であり、維持工事予算の範囲内で実施したいとのこと。

上下水道課

総務・上水道管理係から、水道事業会計決算、スマートフォン決済の利用状況の報告がありました。

上水道係、下水道係から、令和3年度の工事箇所報告がありました。

下水道管理係から、下水道事業会計決算の報告がありました。

その他として、8月1日から1週間を水の週間として上下水道庁舎の内外を使い、水に関するアンケートの実施や給水車からの給水訓練等を実施との報告がありました。

委員から、水源であった井戸を農林振興課に承継されたと思うが、4月1日から農林振興課に承継されたと確認しているのか、との問いに、8か所を農林振興課に移管し、残りは廃止済みとのこと。古賀市自前の水源であるダム貯水量が厳しい状況にあると思うが、市民に節水を呼びかける可能性は、との問いに、北九州市からの受水の増量で対応することができるため、節水の呼びかけに行き着くことはないとのこと。

農林振興課

農林振興係から、朝どりこがスイーツコーンの注文販売の状況について、注文を受けた事業所数は60事業所、7月20日に全ての事業所で販売を終了。サンリブ古賀での販売会を7月4日(日)に開催し1,515本を販売。また農家直売！軽トラ市実行委員会の開催の報告がありました。

農政係から、農業委員の任命、農地パトロールの実施、人・農地プランの実質化に向けた取組、令和3年度福岡県多面的機能支払交付金の報告がありました。

農林土木係から、農業用施設改良工事、ため池ハザードマップ作成業務委託の報告がありました。薦野清滝地区基盤整備事業について、令和4年度の事業採択に向け、7月に県のヒアリングが終わり、8月に農政局ヒアリングを受けるとの報告がありました。

委員から、新型コロナウイルス感染症の影響でスイーツコーンまつりが中止になり、注文販売に切り替えられたと思うが、来年、新型コロナウイルス感染症が収束したと仮定した場合にも注文販売は実施するのか、との問いに、販売を実施する予定であるとのこと。年々、スイーツコーンの注文も増加していると思うが、コーンの作付け拡大の考えは、との問いに、毎年の課題になっており、メンバーを増やしたい意向はあるが、今のところ現状維持でと考えているとのこと。

上下水道課からはダムの貯水率が7%との報告を受けたが、各農区のため池も底をついてきている。4月から取水施設が農林振興課に承継されたが、農業用水の需要が高く、電気代など現予算に加え、流用や補正予算を組んでも、水稻栽培に影響がないように対応してほしいとの意見に対しては、今年度から上下水道課から引き継いだ井戸ポンプの電気代を現予算で計上しているが、農区の要望で極力ポンプを回している状況のため、場合によっては補正も考えている。農区が困らないように最大限のサポートをしていくとのこと。

商工政策課

商業観光係から、消費生活センター、地域消費喚起キャッシュレス推進委託、まつり古賀の報告がありました。地域おこし協力隊について、今年度は観光活性化支援隊員、中心市街地活性化支援隊員のそれぞれ1名の募集を行った結果、4名の応募があり、現在合否判定を行うための事務手続中との報告がありました。

事業者支援係から、無料職業紹介所、ふるさと応援寄附の報告がありました。新型コロナウイルス感染拡大防止補助金について、市内事業者が市内の事務所・店舗・倉庫・工場において、感染拡大防止策として備品の購入や工事を行う場合に、対策実施に要する経費の一部を補助する制度で、商工会の協力で市内事業者にチラシを配布したとの報告がありました。

委員から、PayPay キャンペーンで、市民からポスターが小さい、どの店で利用できるのか分からないと聞かすが、との問いに、PayPay 株式会社との取決めで利用できる店舗の一覧表は載せないようになっている。理由として実際利用できる店舗は常時変わっているとのことであり、最新情報はPayPay のアプリで確認してほしいとのこと。

JR 古賀駅西口エリア活性化についての取組の進捗状況は、との問いに、8月11日に第3回の事業者向けのミーティングを開催し、今後の西口の在り方等を協議するとのこと。

以上、市民建産常任委員会の議会閉会中の所管事務調査の概要報告を終わります。